

I. 調査の概要

1. 調査の目的

県民の生活の実感や県政への関心をはじめ、県の広報、当面する県政の課題や各種施策に対する意識などを把握し、今後の県政の運営と施策立案のための基礎資料として活用する。

2. 調査項目

- (1) 生活実感
- (2) 政治や経済への関心
- (3) 県の行っている広報
- (4) 県の取組に対する実感
- (5) 県の施策に関する意識等
 - スポーツ活動の実施状況
 - 関心がある人権問題
 - 生物多様性
 - 観光振興の推進
 - やまぐち森林づくり県民税
 - コミュニティ・スクール
 - 県民活動
 - 食の安心・安全
 - 食育
 - 地産・地消の推進
 - 道路の整備

3. 調査設計

- (1) 調査地域 山口県全域
- (2) 母集団 20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法（調査期間中に督促状を1回発送）
- (6) 調査時期 2015年6月4日（木）～6月22日（月）

4. 回収結果

有効回収数（率） 1,658（55.3%）

5. 報告書の見方

- (1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- (2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- (3) 報告書中の図表では、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

6. 標本抽出方法

【層化】

県内の市町を次の7地域に分類し、層とした。

地域	該当市町
①岩国地域	岩国市、和木町
②柳井地域	柳井市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町
③周南地域	下松市、光市、周南市
④山口・防府地域	山口市、防府市
⑤宇部・小野田地域	宇部市、美祢市、山陽小野田市
⑥下関地域	下関市
⑦萩・長門地域	萩市、長門市、阿武町

【標本数の配分】

各層における20歳以上の人口（平成22年国勢調査）により、3,000の標本数を比例配分した。

【抽出】

1. 平成22年国勢調査の基本単位区を第一次抽出単位として使用した。
2. 各層の調査地点数を、1調査地点あたりの標本数が30程度になるように算出した。
3. 層ごとに

$$\frac{\text{層における人口の合計}}{\text{層における調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$

を算出し、等間隔抽出法によって、該当人数番目の対象者が含まれる基本単位区を調査地点として抽出した。なお、抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、「全国地方公共団体コード」（総務省設定）の順に従った。

4. 各調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）の選挙人名簿から、等間隔抽出法によって行った。
5. 以上の作業の結果得られた各層の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

【各層の標本数と調査地点数】

	母集団数 (20歳以上の人口（平成22年国勢調査）)	標本数	調査地点数
①岩国地域	123,872	310	11
②柳井地域	73,789	185	7
③周南地域	211,024	529	18
④山口・防府地域	253,309	635	21
⑤宇部・小野田地域	220,376	552	18
⑥下関地域	232,899	583	20
⑦萩・長門地域	82,050	206	7
県全体	1,197,319	3,000	102